



DNW-19012 の概要

課題番号 : DNW-19012

課題名 : 脂質代謝経路を標的としたがん免疫療法の探索

主任研究者 (Principal Investigator) :

大多 茂樹 (学校法人慶應義塾慶應義塾大学医学部)

課題番号 DNW-19012 では、酵素 X を標的として、新たながん免疫療法の創出に取り組んでいる。

- 創薬コンセプト :

免疫抑制的に働く活性物質を生成する酵素 X を阻害することで、抗腫瘍免疫応答を亢進する新たながん免疫療法薬。

- ターゲットプロダクトプロファイル :

酵素 X 発現により抗腫瘍免疫応答が低下している進行がん患者に対して、免疫チェックポイント阻害薬との併用又は単独投与によって抗腫瘍効果を示す新規治療薬。

- 創薬コンセプトの妥当性を支持するエビデンス :

以下のことが PI らにより明らかにされている。

1) 免疫抑制的に働く活性物質を生成する酵素 X が腫瘍組織で発現し、その活性物質の血中濃度は健常人と比べてがん患者で高いことが確認された。また、酵素 X をノックアウトした担がんマウスを用いた抗腫瘍効果試験で顕著な抗 PD-1 抗体の作用増強を認めた。

- 創薬に向けたアプローチ :

1) High-throughput Screening を含めたスクリーニング系を構築する。

2) 酵素 X の疾患関連性に関する検討を行う。

3) 治療効果予測マーカーを検討する。

- 関連特許 :

特許出願あり

本資料は、創薬総合支援事業 (創薬ブースター) による支援の終了時の情報をもとに作成しています。